

埼玉県現代俳句協会報

第89号 (2025年9月5日)

第四十七回埼玉俳句大会

7・20



講演中の秋尾先生

埼玉県現代俳句協会主催、埼玉県芸術文化祭二〇二五協賛事業の第四十七回埼玉俳句大会が七月二〇日に桶川市のさいたま文学館文学ホールで開催されました。

当日は秋尾敏先生（現代俳句協会副会長）による「俳句が古典主義や客観写生に納まるはずがない話」と題する講演が行われた他、事前投句、当日投句のそれぞれの表彰式や講評が行われました。

今回は事前投句の部に八九六句の投句が寄せられ、また当日も七〇名強の参加者により一三六句が集まりました。

《秋尾先生ご講演内容 要旨》

大きく分けて二つのことについてお話を頂いた。一つが「美を詠む連歌・現実を詠む俳諧」。もう一つが「言葉の神秘性（言霊・超能力）」である。

一つ目について、和歌・連歌は、過去の文芸の教養に基づいて美を詠む。なお本歌取りとは、過去の作品の情景、状況を想起させ、奥行や広がりを作る。これは現代の映像の世

界やアニメの世界も同様である。また、連歌は、はじめは（平安時代）短連歌「上の句（五七五）と下の句（七七）」という二人の唱和で一首とする」であったが、中世以降は長連歌（二人以上で五七五と七七を交互に続ける）になっていった。例として『水無瀬三吟百韻』（二四八八年）の連歌を上げて新古今和歌集等作品の教養が見え隠れするとも。もっとも有名な連歌として『愛宕百韻』として本能寺の変の八日前に催された連歌を上げる。

ときは今あめが下なる五月かな 明智光秀 発句
水上まさる庭の夏山 松永行祐 脇
花落つる池の流れをせきとめて 里村紹巴 第三

初期の俳諧は、連句の会の終了後に行われ専ら現実を詠んでいる。よって、和歌・連歌は架空の「美」を詠い上げ、俳諧は現実を詠む方向へ進む。現実のことの多くが実は滑稽であり、「言わないことになっていること」や「気づかないこと」を言ってしまうのが俳諧である。ここから近代の子規や虚子へ繋がり、本当のことを言ってしまう写生は滑稽ということになる。

二つ目の「言葉の神秘性（言霊・超能力）」は、主に江戸時代において、日本人には言葉に対する強いこだわり（執念であり執着）があり、それが言葉を神秘性にまで高めていることについて、次の五つの例で示された。

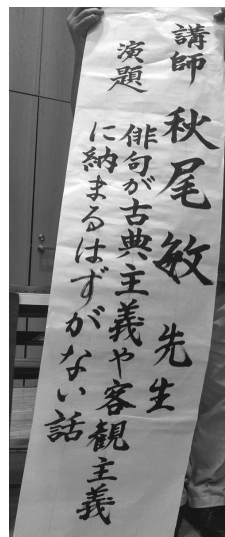
一、俳句は祈禱である。例として、宝井其角「ゆうだちや」の句碑を紹介。
二、俳句の世界は陰陽で出来ている。例とし

て月院社何丸の（芭蕉七部集の解釈本である）『俳諧七部集大鏡』を提示。

三、俳句は宗教的でもあるとして、野々口立圃の俳句の魔方陣の紹介。（魔方陣とは $n \times n$ 個の正方形に方陣に数字を配置して縦・横・対角線の全ての数字の合計が同じになるものであり、その数字を文字に変えたもの）

四、回文の紹介

五、音通（五七五の境目の文字を同じ子音で受ける。）例として、行く春を（w o）近（o）江の人と（t o）惜（o）しみける。これは口伝、秘伝として明治まで文字化されることが少なかった。先の明智光秀の発句において、上五中七しか音通させなかったから、光秀の天下取りは成就しなかったと、言い伝えられていた。



事前投句の部 入賞作品

- 一位 埼玉県知事賞 該当者なし
二位 埼玉県教育委員会教育長賞
日に一便たんぽぽの咲く滑走路 越田 栄子
三位 埼玉県芸術文化祭実行委員会会長賞
野遊びや影踏めば影踏み返す 山本鬼之介
四位 埼玉県芸術文化祭奨励賞
昭和史を語るに路地の金魚売 小山 敏男
五位 埼玉県芸術文化祭奨励賞
春愁を電子レンジにかけてみる 日向 文子
六位 埼玉県芸術文化祭奨励賞
来世は恐竜となれ蜥蜴の子 鈴木 藻好
七位 桶川市長賞
夏帽子父の最後の友となり 羽島 秀子
八位 埼玉県俳句連盟会長賞
単純を形にすればチューリップ 大場 順子
九位 埼玉県現代俳句協会会長賞
亀鳴いて人に尾骨の残りをり 石原 道明
十位 神託を聴きに地上へ出る蚯蚓 中内 火星
十一位 生きることはここにいてこと畦を塗る 宮城留美子
十二位 靴履かせ母を花野へ放ちけり 高木 宇大
十三位 蛞蝓ページの端をすこし折る 鳥山由貴子
十四位 とろり嚙む大魚の目玉三鬼の忌 益子さとし
十五位 話聞くだけの介護や合飲の花 増田 信雄
十六位 老骨に打つ鞭を買ふ昭和の日 中野 博夫
十七位 蚕豆を剥きつつ大それたことを言ふ 松居 一江
十八位 不戦ゆえ不敗の国の薄氷 宮本 豊子
十九位 見送りに出迎えも犬秋深し 秋谷 風舎
二十位 大根の花の色した嘘をつく 菅原 卓郎
二十一位 陽炎の駅から父の降りてくる 山崎加津子

- 二二位 油照こんな日は包丁を研ぐ 青木 鶴城
二三位 土踏まずに刺さる錆び釘敗戦忌 藤 玲人
二四位 挨拶はつづく壺焼きのぐつぐつ 石関 六弦
二五位 雨の日の酒屋を覗く青蜥蜴 松井由紀子
二六位 真っ直ぐに突る少年新樹光 森 由美子
二七位 表札を読みつつ歩く初桜 後藤 章
二八位 春愁につかまる気配午後一時 長澤 健次
二九位 五姉妹の真ん中父似土筆和え 金子 斐子
三十位 また同じ鴨が喧嘩を売つてゐる 田口 武

当日投句の部の入賞作品



当日投句の部の入賞作品。

- 一位 桶川市長賞
白桃に疵あり人は人裁く 越川ミトミ
二位 埼玉県俳句連盟会長賞
わたし達海月に見られているみたい 山崎 十生
三位 埼玉県現代俳句協会会長賞
夜の蟬や行き止まりなる耳の穴 鈴木 牛後
四位 穴ぼこがあったら覗く夏休み 金子 和美
五位 歩き方忘れてしまふ螢の夜 藤澤 晴美

- 六位 夕端居とて沈黙といふ返事 加藤いさむ
七位 海の日のはには遠き秩父の子 戸部 雷蝶
八位 片蔭は追越し禁止屋敷町 山本鬼之介
九位 散骨はこと決めたる夏の海 増田 信雄
十位 木下闇多分深海魚だった僕 室田 洋子
十一位 茄子の馬ぞろぞろうしろ付いてくる 山崎加津子
十二位 ひとつぶの塩も見逃がさない裸足 渡辺 智恵
十三位 蟻地獄怪しきものに近づかず 平野 楽
十四位 縁台に赤き唇むかし妻 北山建治郎
十五位 天道虫君はサンバを踊れるかい 青木 鶴城
十六位 重心の臍に流れてところてん 渡邊 樹音
十七位 海峡の向かうは異国海霧流る 日高 道を
十八位 炎天の風押し分けて電車来る 岡田 宣子
十九位 風鈴がどこかで鳴つてゐた昭和 折原野歩留
二十位 どの弾薬が冷奴をくずした 宮澤 順子



地区協会と社団法人の関係

(一社)現代俳句協会専務理事 後藤 章

埼玉県現代俳句協会事務局からの寄稿要請は、左記のようなものでありました。これは埼玉県だけの問題ではなく、全国の地区協会の責任ある立場になられた方々の共通した思いと考えお答えいたします。

埼玉県現代俳句協会の抱く危機感と打開策（要約）

「日本では高齢化社会の目安とされる65歳以上の割合は29%を越え、3600万人を超えました。俳句人口は減少の一途を辿っていると聞いております。しかし、一歩目を転じると、巷には健康な高齢者が溢れております。その中に何処にも属さない「緩やかな俳句愛好者」はどのくらい存在するのか？ 彼らは何故存在し続けられるのか？ 新聞投句は何故衰退しないのか？

これらの様々な「俳句愛好者」をわずかでも仲間へ誘い込めれば、現代俳句協会は発展に転ずることができ、ひいては俳壇全体の発展にも繋がるのではないのでしょうか？ この「俳句愛好者」を誘い込むような手立てが必要なのではないのでしょうか？ そして協会が独立の団体となった今、埼玉県現代俳句協会のような地方の団体においても、それぞれ「俳句愛好者」を誘い込むような手立てが求められるのではないのか。」

埼玉県現代俳句協会のお考えは下記の二点に要約されるところと思います。

①日本全体の高齢化に合わせた組織拡大の方法があるのではないかと

②(一社)現代俳句協会と埼玉県現代俳句協会は別組織となった。このことに伴う地区協会の在り方への模索

まず、②に答えます。法人会計上別組織である必要性については発足に当たり縷々説明してきましたので省略しますが別組織にはなっても地区協会助成金制度は維持していることが重要です。現行会費一二〇〇〇円に対して二〇〇〇円×地区内協会員数

を地区協会費として各地区に還付しています。これは(一社)現代俳句協会と各地区協会が組織の実態を相互に把握できる仕組みです。同時に地区協会の基本的活動費を提供する仕組みです。この絆は残っています。

今回の組織になって変わったことは、地区協会独自で会費を徴収することになったことです。以前からそうであるという地区の方もいらつしやるかも知れませんが、同一協会に所属していて会費が違うと言うことは、一物一価の法則からみても基本的に許されないことでした。このことが曖昧にされてきたことは事実です。しかし現在は自由です。ですから「俳句愛好者」を誘い込むような手立て」を考えて地区協会自身が実行することに制約がないのです。このことは大事なことです。多くの地区協会の責任ある立場にある方々が積極的に活用していいように見えます。地区協会の自主財源を得てもいいのです、この視点があれば、今までのような年間計画案は生まれないはず。考え方としては地区協会助成金は新しい事業をやるための基本資金となります。活動の限界ではありません。自主財源を得て独自の俳句コミュニティを構築することが出来るのです。

次に①に答えます。人口減少は抗いがたい事実です。協会運営もそれを前提として成されています。そのために協会は収入の多様化を図っております。会費収入はもちろんのこと、寄付財源、補助金獲得の拡充、協会活動による収入力アップなどです。その内会費収入については昨年一二〇〇〇円への値上げを許して頂きました。寄付制度も立ち上げ現在の額は一五〇万円強です。補助金は初めて獲得して六〇万円でした。

しかし何より協会が現在進めているのは、外部発信の強化です。会員の個別獲得に重きをおいた活動から重点を移したのは、ご指摘の「俳句愛好者」に対する働きかけです。それも直接的なものではなく「なんか面白いことやってる協会だな」と思わせて、自主的に会費を払っても入りたい組織にすることです。新聞俳壇等は基本にお金がかかります。

の違いは大きいのです。お金を出しても繋がりたいと思わせられるかどうかです。協会はこれらの方々への個別アプローチではなくて組織全体の魅力アップで立ち向かう方向に舵を切りました。

具体的にはあらゆるチャネルから発信することです。その事により一社の社会活動への世間の認知度が高まり、会員が俳句の社会的活動に指導的立場で参加して、より適正な報酬を得、それにもない協会も収入を得るという構造の構築です。伊藤園の「おいしいお茶」を初めとした選句収入などの多様化もその一つです。このために協会はGHCという組織を作り俳句教育に携わる人材の紹介をしています。

こうした活動にはかならず文学的批判があります。協会活動には文学的側面と文化的側面が有ります。これを混同しているからです。文学的側面は俳句芸術の質的向上に資する施策を行うことですが、それには毎年協会四賞を出しつつあります。この賞の維持が会員の作品の価値を担保していると言うことです。協会会員の作品の文学的価値の向上は当然文化的側面に良い影響を及ぼします。車の両輪として協会はバランスの取れた運営を心がけています。

地区協会の在り方は以上でお分かりになると思いますが、一社の動きを視野に入れながら、自主財源の獲得と運営をこころみ、各地区が自らのコミュニティを豊かなものにするために動けば良い回転をして行くのだと考えます。一社はその為の応援を惜しみません。

地区協会には事務所がありませんが、現在一社の会議はZOOMがほとんどです。望まれることは、高齢の会員と中堅会員、若手会員がおたがいに協力し合えて面白い団体にして行くことです。それには巻き込んで行く人が必要で、地区協会の事務局はまさにそのことに専念すべき立場です。その時勇気を持って現在のIT技術を導入して下さい。わからなければ若者を掴まえて巻き込む。そんな動きが波紋のように広がり始めれば大きな成果が生まれるのでは無いでしょうか。(一社とは一般社団法人の略)

諸家近詠一句

28	青空や気球で巡る春の山	保坂 翔太
27	葉桜となりて一番星頭上	波切 虹洋
26	柿若葉素直な子らに見せる背	遠藤 久美
25	隠沼の水面を鎮め花は葉に	網野 月を
24	寂光院のぬれいろ白き蛇の衣	益子さとし
23	肝斑ぬきの広告ばかり透百合	寺井 睦子
22	小手毬の花弁の舞ひかるひかる	木下 周子
21	頬を打つ五月の風の平手かな	池田 雅夫
20	花盛り園児も黙す短かさよ	小林 水迷
19	教会の尖塔越えし子の風船	加藤 圭子
18	おはやうと遺影に告げる春の雪	中山 洋子
17	稲架消えて風もわたしも止まらない	鈴木 砂紅
16	城隠し城見せもして雪時雨	本橋 稀香
15	ツインタワー跡地紐育の春	小林 京子
14	お守りのやうな猫の子を拾ふ	金子 和美
13	寝てていいよ助手席へ早春の陽	植 朋子
12	さくさくと鋏の音する桜東風	石原 道明
11	考える草ほろほろと物忘れ	森 由美子
10	人間に毒ありいろはの炎天	田口 鷹生
9	森を出てヒトとなりしか花野人	五明 昇
8	秒針の心音となる冬はじめ	北上 正枝
7	悪女乗せぎりぎり漕ぐ花菜畑	戸部 雷蝶
6	花の雨夫は優しくなりて逝く	高梨 武州
5	春分点陽光北へ回帰せり	高橋 亨
4	捨て台詞はどいつもこいつも遅桜	鈴木 良二
3	すれ違う園児の散歩若葉萌ゆ	岡田 美幸
2	世界地図逆さに巻く春疾風	青柳 洋子
1	紛争の涸らす涙や飛花落花	青木 鶴城

60	夕焼けを誰と何処でが幸福度	篠原 葦
59	暗闇へ墮ちゆく骨と桜の実	鳥山由貴子
58	夕月や鶴の機織る民話劇	染谷 風子
57	山笑う落ち着き戻す今が好き	早乙女文子
56	黒南風が廊下をまた吹き抜けていく	秋枝ゆう児
55	断層のずれ発見すキュウリサンド	松居 一江
54	組板を干して母国の花日和	越川ミトミ
53	春の月天啓として辞表出す	秋永 悦子
52	蚕豆のポタージュ午後の偏頭痛	宮本 豊子
51	憲法に個人の二文字記念の日	関根 道豊
50	戦いの汗それぞれに氏名あり	山崎 十生
49	此処いらに棲んでゐたはず田螺鳴く	鱸 久子
48	その指に止まったから鼻先に汗	伊藤 進
47	何事も今日が始まり走り蕎麦	原 博子
46	巡回の移動スパー春の泥	坂川 花蓮
45	靖国の鳥居吹き抜け若葉風	増田 信雄
44	万愚節肩に鋏載せ陶淵明	神田 一美
43	観音の花享くによきたなごころ	渡辺 智恵
42	妹を追いかけて回す捕虫網	石渡 清
41	いまだふらここみちのくの海の底	杉本青三郎
40	三月の靴下の指裏返す	田中美佐子
39	業平忌深き眠りの紐を解く	内田 幸彦
38	熊蟬の初鳴きは樹の鳴くように	尾堤 輝義
37	ときに優しくときに哀しく花吹雪	新井 史子
36	花筏揺蕩ふ水面見て飽かず	吉澤 祥匡
35	キューポラ消えて久しき空や立葵	堀田 福朗
34	春爛漫胸に描いてそれで良し	岡嶋 澄子
33	荒磯の奥まで舐める波の舌	一の橋世京
32	鶯や訛りの消えぬ言葉尻	中野 博夫
31	春の庭写真の息子に見せる妻	飯田 忠男
30	花菜風利根の水音さらさらす	越田 栄子
29	菜の花のどこから攻めていけばよい	久下 晴美

61	師は星に友は何処に四葩咲く	草 みさを
62	紀元前まで遡る泉かな	宮澤 順子
63	産み立ての卵の温み夏の草	田中 朋子
64	朧夜の舌いちまいの疲れかな	山崎加津子
65	若冲は和金の朱を盗みたり	瀬戸山千晴
66	地雷跡ねんごろに撒く花の種	福島ときみ
67	万緑やエンジン止めて三千歩	宮崎チアキ
68	葉桜や花街へ到る顰	山本鬼之介
69	噴水の上がりつめたるとき無言	森田 鈴
70	熔鉄の匂ふ筈流しかな	知念 哲庵

コラム

「耐える」「絶える」「植える」

現代語で「耐える」は、歴史的仮名遣いでは「耐へる」です。「絶える」は、歴史的仮名遣いでも「絶える」です。違いは、文語の終止形が「耐ふ」（ハ行下二段活用）か「絶ゆ」（ヤ行下二段活用）です。「植える」の歴史的仮名遣いは「植ゑる」です。文語の終止形は「植う」（ワ行下二段活用）。動詞で「ゑる」で終わり、歴史的仮名遣いが「ゑる」となる語は他に「据ゑる」「飢ゑる」の二語。計三語のみです。覚えてしまおうというようです。動詞以外でも「ゑ」の表記があります。「声（こゑ）」「末（すゑ）」「智恵（ちゑ）」「杖（つゑ）」「故（ゆゑ）」「絵（ゑ）」「決る（きゑる）」などそれほど多くありません。気になったら辞書で確認するとよいでしょう。国語辞典で「酔う」を引くと、歴史的仮名遣いは「酔（よ）ふ」とありますが、古語辞典に「よふ」はなく、「ゑふ（酔う）」で載っています。一句を文語体で作るなら「ゑふ」、口語体でつくるなら「よふ」となるかと思えます。歴史的仮名遣い＝文語ではありませんのので念の為書き添えます。（会報編集部）

選者が選ぶ

89号諸家近詠10句選

神田 一美

寝ていいよ助手席へ早春の陽

植 朋子

日常生活のなかの会話のひと言を、そのまま生き
生きと表現した。日々の昼食後のドライブ中の情景
か。朝早く久しぶりに遠乗りか。

逆走あり、ひき逃げあり、落ち着かない世相であ
る。こちらが注意していても、向こうから事故がやっ
てくる。電車の中でも、安心してうたた寝出来るの
がよりよい社会であろう。安心して眠ってしてくだ
さい。運転はどうぞ任せてください。このような場
を大切に、前へと進みたい。陽は、いつも優しく
見守っているのだから。

肝班ぬきの広告ばかり透百合

寺井 睦子

新聞の折り込み広告に、スーパー・買い取り店・
電器店などとともに、化粧品の広告も目立つ。
白くきれいな肌もいい。しかし、透百合の紫黒の
斑点は斑点として見事に存在している。「みんな違っ
てみんないい」ではないか。

付度し、「ばかり」で生活することはない。透百
合は、すべて上向きに堂々と咲いている。

稲架消えて風もわたしも止まらない

鈴木 砂紅

いまだふらここみちのくの海の底
杉本青三郎
此処いらに棲んでゐたはず田螺鳴く
久子

憲法に個人の二文字記念の日

関根 道豊

春の月天啓として辞表出す

秋永 悦子

組板を干して母国の花日和

越川ミトミ

夕焼けを誰と何処でが幸福度

篠原 葦

噴水の上がりつめたるとき無言

森田 鈴

森を出てヒトとなりしか花野人

五明 昇

壮大な時間の流れが、この一句には込められてい
る。太初の間、森を出たことで、「生物」から「ヒト」
への変遷が始まり、火を知ること文明の第一歩を
踏み出したように、さらに時が流れて、今や花野を
愛でる存在へと変化したのだ。この一句には、太古
から続く人類の進化と、自然との関わりが巧みに詠
まれている。花を愛でることが出来るのは、単なる
生物ではなく、感性を持つ「人」であることの証。
下五を花野人としたことで、進化の過程に思いを馳
せる、哲学的な深みのある句となった。

稲架消えて風もわたしも止まらない

鈴木 砂紅

さらっと詠まれているようで、力強い決意の表れ
がこの一句には込められているように感じる。稲架
が消えたことで生じた空間は、単なる物理的な広
がりではなく、人生の新たなステージを象徴してい
るようだ。風とともに動き出した「わたし」は、もう
立ち止まることはできず、むしろ前へ進むことを宿
命づけられたのだ。その運命を受け入れ、精一杯努
力しようという前向きな意思が、静かな言葉の中に
しっかりと息づいている。自然の風景と人生の流れ
を重ね合わせた、奥行きのある句となった。

花の雨夫は優しくなりて逝く

高梨 武州

頬を打つ五月の風の平手かな
池田 雅夫

菜の花のどこから攻めていけばよい
久下 晴美

ときに優しくときに哀しく花吹雪
新井 史子

三月の靴下の指裏返す

田中美佐子

蚕豆のポタージュ午後の偏頭痛

宮本 豊子

暗闇へ堕ちゆく骨と桜の実

鳥山由貴子

朧夜の舌いちまいの疲れかな

山崎加津子

渡邊 樹音

隠沼の水面を鎮め花は葉に

網野 月を

隠沼は人目につかず草に覆われひっそりとした沼。
その場所は結界であるかのよう鎮もる。神秘的
なのだろうか、いや怖ささえ感じるかもしれない。
その情景が一転するような十七音の奏でる景の豊か
さに惹かれる。「花は葉に」の措辞が生命を吹き込む
季語が生み出す瞬発力が絶大である。隠沼の時間経
過も鮮やかに彩りを映し出す。静から動へと季語の
力強さが一句を引き立てている。

噴水の上りつめたるとき無言

森田 鈴

噴水は饒舌であると思っていた。それが見事に覆
された。のびやかに風に乗る噴水。明るさの象徴の
ような噴水は、はしゃいでいるようだが一心不乱に
高みを目指している。水は自然に下へ流れるもの。
噴水は人工的な装置で上へと水を動かしている。唯
一の水の意志が「無言」なのか。極限まで上りつめ
た時の一瞬の黙。それはやがて砕け落ちてゆくため
の黙。

世界地図逆さに巻く春疾風

青柳 洋子

秒針の心音となる冬はじめ

北上 正枝

花菜風利根の水音きらきらす
越田 栄子

いまだふらここみちのくの海の底
杉本青三郎

戦いの汗それぞれに氏名あり
山崎 十生

暗闇へ堕ちゆく骨と桜の実
鳥山由貴子

産み立ての卵の温み夏の草
田中 朋子

若冲は和金の朱を盗みたり
瀬戸山千晴

会員の近詠5句

額の花

青柳 洋子
こんちえると

オルガンの音に夏蝶舞ひ降りる
敗戦日万歳ラヂオ終りけり
穀象やひもじき思ひ空の櫃
帰り道老母思ひて額の花
花南天夫婦静かな記念の日

夏野原

古閑 治恵
軸

観衆の息を奪って飛び込みぬ
夏野原これはインディの帽子
学名なき微生物満つ夕立あと
エジプトの木乃伊に巻き毛午睡かな
仮設の家の仮設の家族茄子の馬

裏の顔

鈴木 牛後
雪華・アジール

夏虻が叩く鏡の髭つ面
夏蝶にペン走らせて追ひつけず
蛾のかたちの染みと染みのかたちの蛾
火蛾は灯に地球に裏の顔がある
明急ぐわたしの中の鳥放ち

想ひ

遠藤 久美

ねむの花じぶんいきいてみる想ひ
ドキドキもワクワクもあるヤブカラシ
青い柿かわる勉強CCQ
つっぱねてつっぱねられる炎天下
覚悟かく紙にある神あまの川

青田風

阿武 敬子
海原

緑透けキリリと細き子かまきり
代田搔く若き跡取り男前
雷雲来大雨粒に鴉跳ね
笑ひ合ふ苗の曲がりや田植あと
プシューとひとひの終わり青田風

朱夏

佐藤 もえ

七月の海へクレインの畏まる
赤い矢てふ特急電車夏山へ
日本中の暑さ集めて梅を干す
夏野菜のカレー子らみな遠くあり
ひとつかみほどの木立へ夏帽子

通信欄散歩

89号諸家近詠一句の「通信欄」にお寄せ頂いた中から、いくつかのメッセージをお届けする。

（散歩1）「ねんりんピック」に関するコメントを二通頂いた。皆さんの関心の高さがうかがえる。埼玉県が会場となる全国規模の俳句大会なので是非参加を。

令和7年は、「ねんりんピック彩の国さいたま俳句大会開催記念プレ大会」が11月1日（土）にレイボックホール（さいたま市民会館おおみや）大ホールにて開催される。募集句は終了しているが、当日句は当日8時30分より受付。投句無料。また、「ねんりんピック彩の国さいたま2026」本番は、県内各地で開催されるが、俳句大会は令和8年11月8日（日）に、同じくレイボックホール（さいたま市民会館おおみや）大ホールにて開催。

（散歩2）結社をやめ、一般社団法人現代俳句協会を退会し、埼玉県現代俳句協会のみ会員として頑張っておられる方から「通信欄」への一言、『いつもありがとうございます。つながれてとても嬉しいです。みんなちがうけど数珠みたいにつながっているそんな感じがしています』。また別の方の「通信欄」には、『神野紗希先生が新しく立ち上げたnoi（ノイ）所属となりました。よろしくお願いいたします』。それぞれの会員が、それぞれの関わり方で頑張っておられる。

（散歩3）会報88号でも「歴史的仮名遣いのコーナー」は引き続き講評である。『歴史的仮名遣いのコーナー続けて下さり、ありがとうございます。』皆さんのご興味すべてに応えることは難しいが、継続したい。（中野記）

第23回 埼玉県現代俳句大賞作品募集

◆作品

- ①未発表作品（厳守）15句（1人1編に限り、前稿は楷書で丁寧な書き、題名を付すこと、所定の応募用紙のほかに、ワープロ等で作成した応募も受け付けます。）

◆応募資格

- ④極端な類想があった場合は入賞を取り消します。埼玉県現代俳句協会（年会費既納者）※選者・正賞既受賞者は応募不可

◆応募費用

- 1000円（作品と一緒に郵便小為替を同封のこと）※「埼玉現代俳句協会限定会員」は参加費2000円が必要になります。

◆応募締切

- 2025年10月20日（月）厳守（電子メールでの受付不可）

◆選考委員

- 桑原三郎、山崎十生、杉本青三郎、加藤いさむ、石 寒太、岩淵喜代子、原 雅子、山本鬼之介、後藤 章、網野月を、田中朋子、渡邊樹音、堀之内長一

◆顕彰

- ①大賞1名 賞状・賞金（3万円）②準賞若干名 賞状・賞金（1万円）③佳作若干名（記念品）

◆発表

- 2026年3月7日（土）埼玉県現代俳句協会定期総会席上 10月20日（月）厳守

◆応募受付

- 2025年8月1日（金）〒360-0816 熊谷市石原100-1 森由美子方

◆応募宛先

- 埼玉県現代俳句協会俳句大賞係（電話）048-1524-0834

◆主催

- 埼玉県現代俳句協会

Ⅰ句会 7月

髪洗うどこかはぐれた気持ちして
たましいを留めるクリップぽんぽんだりあ
百二歳長居の客の如き夏
糸を捨て罫を捨て蜘蛛の自在
炎昼や踏絵の残る郷土館
ほたるぶくろ万葉仮名をたつぷりと
突つ込める手首が抜ける蟻地獄
残像の青く尾を引く瑠璃蜥蜴
調律のようなる滝の微調整
走り梅雨刑事ドラマをはしごして
みなみかぜ実家の犬が安産で
花火果て残像を追ふ夜空かな
モノクロの木苺となり会いに行く

金子 和美
藤澤 晴美
む つ
後藤よしみ
堀田 福朗
堀之内長一
長 門
杉本青三郎
宮澤 順子
小林 水迷
内野 義悠
坂川 花蓮
田中 朋子

《90号の諸家近詠の一句を募集！》

下記の葉書を使って御応募下さい。
85円切手を貼って投函ください。
たくさんの皆様の御応募をお待ちしております。

キ リ ト リ
郵便はがき

〒362-0043

中野博夫行

上尾市西宮下2-74

【通信欄】

キ
リ
ト
リ

埼玉県現代俳句協会参加マニュアル

埼玉県現代俳句協会では、インターネット句会を開催しています。

参加してみたいという方の参考になるよう、手順を紹介いたしますのでお試しください。

＜まず会員登録から＞

- ①「現代俳句協会ホームページ」画面を開く

- ②「インターネット句会」をクリック

- ③次に「新規登録はこちらから」をクリック

- ④登録に「必要事項を入力」し、「登録する」をクリック

＜次に投句をする＞

- ①「インターネット句会画面はこちら」をクリック

- ②次に画面内「ID」と「パスワード」を入力し、「ログインする」をクリック

- ③次に画面（句会一覧）「埼玉県現代俳句会 投句する」をクリック

- ④次の画面で「句会パスワード」[20250819]を入力

- ⑤作品を入力し、最後に「決定」をクリック

- ⑥これで終了です。

2025年度 埼玉県現代俳句協会
再編後ブロック別該当地域一覧

ブロック名	該当地域
県南ブロック	川口市・戸田市、さいたま市（桜区・浦和区・南区・緑区）・蕨市
中央ブロック	さいたま市（西区・北区・大宮区・見沼区・中央区・岩槻区）・上尾市・桶川市・北本市・伊奈町
県西ブロック	川越市・狭山市・入間市・日高市・飯能市・所沢市・鶴ヶ島市・坂戸市・ふじみ野市・富士見市・新座市・朝霞市・志木市・和光市・三芳町・鳩山町・越生町・毛呂山町・滑川町・嵐山町・小川町・ときがわ町
県北ブロック	秩父市・横瀬町・皆野町・長瀨町・小鹿野町・東秩父村・熊谷市・深谷市・本庄市・鴻巣市・東松山市・美里町・寄居町・神川町・川島町・吉見町・北埼玉（行田市・羽生市・加須市）
県東ブロック	春日部市・幸手市・越谷市・吉川市・三郷市・八潮市・草加市・杉戸町・松伏町・北埼玉（久喜市・白岡市・蓮田市・宮代町）

皆で参加しよう!!

第38回全国健康福祉祭埼玉大会
ねんりんピック彩の国さいたま2026
開催記念プレ大会

日時…令和7年11月1日(土)

会場…RaiBoC Hall 大ホール
さいたま市大宮区大門町2-118
大宮門街7階

吟行場所…

武蔵一宮 氷川神社 大宮公園周辺

当日句締切…

11時30分

一人一句(無料) 吟行会場付近の囁目
投句場所…

受付場所と同じ

日程…13時00分 開会式

13時30分

記念講演・対馬康子先生

14時50分

入選者の発表・表彰・選評

15時50分

総評
16時00分 閉会式



*会員の新聞

■鈴木牛後さんが句集を上梓されました。

『韻の色』(林書肆アルス)

■大崎紀夫さんが句集、詩集を上梓されました。

『耳菜草』 ウエップ

『3行詩その他 115・2024』 ウエップ

● 事務局だより ●

・ブロック長会議

日時：2025年11月15日(土) 13:00~17:00

場所：さいたま文学館 講座室1

・理事会

日時：2026年2月15日(日) 13:00~17:00

場所：さいたま文学館 講座室2

・総会

2026年3月7日(土) さいたま文学館大ホール

2025年度会費納入のお願い

年会費 1,000円

埼玉県現代俳句協会のみの方 2,000円

振込 下記、口座記号・番号、加入者名宛

口座記号						口座番号					
0	0	1	7	0	=	2	=		4	1	3
									1	8	8
加入者名						埼玉県現代俳句協会					

キ リ ト リ

電 氏 (ふりがな) 住
話 名 所

〒 -

90号諸家近詠一句

(新かな・旧かな)
どちらかを○で囲んでください。

(締切11月4日厳守)

キ
リ
ト
リ

俳
号

第 89 号 2025年 9 月 5 日 発行
発 行 人 杉 本 青三郎
発 行 所 埼玉県現代俳句協会
〒332-0012 川口市本町2-6-22-103
電話 048-225-5603
編集責任者 田中朋子

事務局長 中野博夫

〒362-0043 上尾市西宮下2-74

電話 048-773-4693

事務局次長 後藤よしみ

〒335-0022

戸田市上戸田4-14-14-304

電話 080-7387-4435

鈴木牛後

〒363-0022

桶川市若宮1-8-26-302

会報編集委員 田口武、中野博夫、田中朋子

印刷所 コーチ印刷